

## 書面表決でいただいたご意見と対応

## (いただいたご意見)

従来のハザードマップは、想定最大のリスクの影響度（被害の大きさ）を市民に知らせる目的で、国や県の浸水想定を基に市町村が作成し、公表してきた。

今回の内外水統合型水害リスクマップについては、国土交通省の施策で、発生頻度を市民に知らせることに主眼をおいたハザードマップであるが、その公表にあたっては、従来のハザードマップが新たに更新されたかのように市民に誤解を生じさせないように、報道機関等に対し十分な説明を行うと共に、HP等に十分な説明を掲載していただくよう要望します。

## (対応)

今回公表の内外水統合型多段階の浸水想定図及び内外水統合型水害リスクマップは倉吉河川国道事務所HPに掲載します。公表した内容が従来のハザードマップの更新されたかのように市民に誤解をまねかないよう、新たな公表画面に従来の浸水想定区域図のリンク付けを行いました。

なお、この度の公表に関し記者発表は行わないこととしていますが、この件に関し報道機関等から問い合わせがあれば十分な説明を行うこととしています。